佐野市景況レポート

令和元年7～9月期

佐 野 商 工 会 議 所
〒327-0027　佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511　FAX 0283 (22) 5517
HP　http://www.sanocci.or.jp
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

《　概　況　》

買い控えや貿易摩擦等で業況感は現状・先行きともに悪化

【 令和元年 7～9 月期 実績 】

全業種業況 DI 指数は▲22.3、前期（6 月期）比▲4.1 ポイントの悪化となりました。利益 DI 指数▲30.9（前期比▲4.4）、売上高 DI 指数▲20.7（前期比+2.9）、販売価格 DI 指数▲1.5（前期比▲2.4）、在庫 DI 指数 6.0（前期比+8.4）と、売上 DI 指数は改善したものの販売価格 DI 指数と在庫 DI 指数の悪化が利益 DI 指数と業況 DI 指数の悪化に繋がりました。

【 令和元年 10～12 月期 見通し 】

全業種業況 DI 指数は▲18.6（前期比▲4.0）と、今後の 3 ヶ月間は業況悪化を予想しています。売上高 DI 指数は▲20.9（前期比▲2.3）、仕入価格 DI 指数 18.1（前期比▲0.7）、販売価格 DI 指数 0.0（▲0.5）と、売上高の低下等による業況悪化を予想しています。

【 事業所等の景況コメント他 】

景況に関するコメントには、「消費増税問題」、「人材不足・採用難」、「米中間の貿易摩擦」、「景気悪化」、「働き方改革」などが挙げられました。特に、消費増税による景気悪化不安、軽減税率に関する複雑・煩雑さのコメントが目立ちました。また、消費増税直前期の調査のため、一定の駆け込み需要もありましたが、増税前から買い控えのコメントもあり先行き消費の不安が感じられます。

消費増税は自社では変更できない問題です。自社でどうすることもできない問題であれば、いっそのこと『キャッシュレス消費者還元事業』などの政府対策を徹底活用した『変化対応』を検討してみませんか。

〔佐野市内における業況天気図〕

	実　績（令和元年 7～9 月期）		見通し（令和元年 10～12 月期）	
業　　況	▲22.3		▲18.6	
売　上　高	▲20.7		▲20.9	
販 売 価 格	▲1.5		0.0	
仕 入 価 格	22.3		18.1	
労　働　力	▲26.5		－	－

＊天気図の説明
（数字は DI 値）
・仕入価格、販売経費、在庫は DI 値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26 以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26 以下

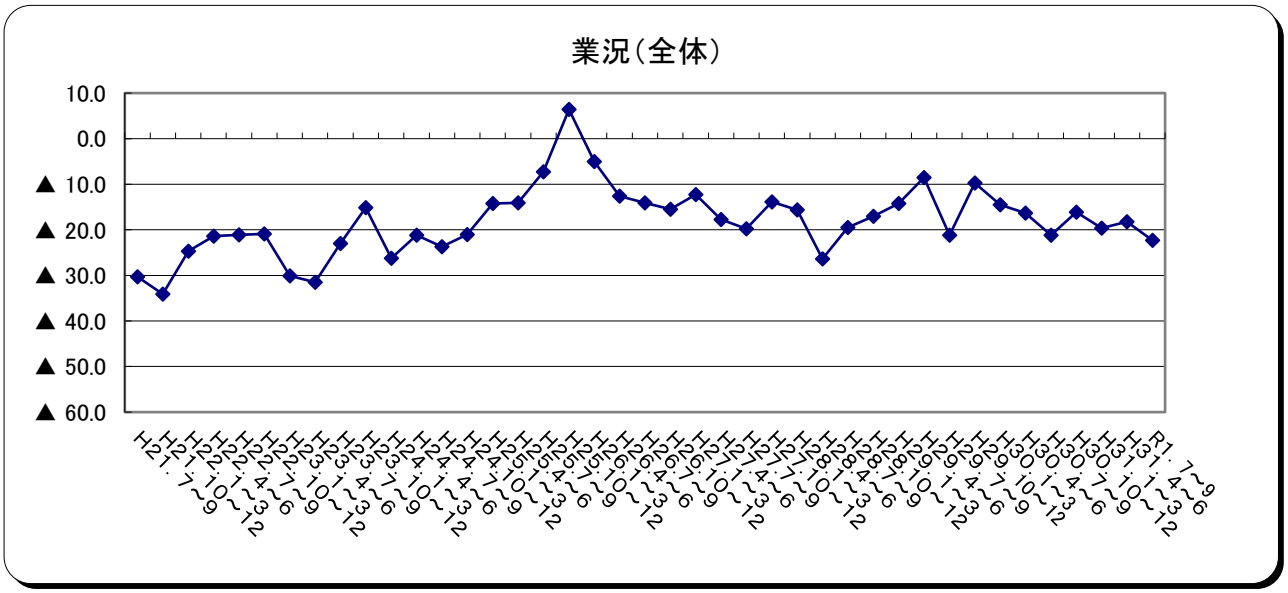
調査協力：ＯＫコンサルティング　代表　岡野　清（中小企業診断士）

☆　業況について（令和元年 7～9 月期実績）

天気図

全業種 DI 指数▲22.3、前期比▲4.1 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①建設業 8.1 ポイント、②その他の製造業 0.0 ポイント、③繊維品製造業▲9.1 ポイント、④機械・金属製造業▲11.7 ポイント、⑤サービス業▲12.5 ポイント

良い
悪い

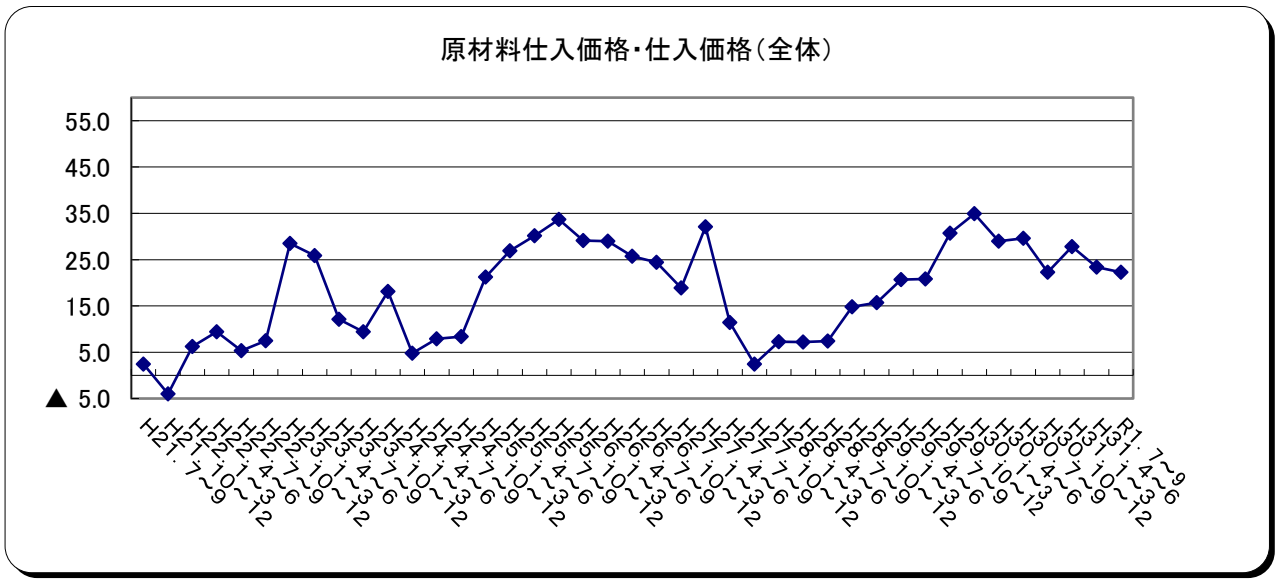


☆　原材料仕入価格・仕入価格について（令和元年 7～9 月期実績）

天気図

全業種 DI 指数 22.3、前期比▲1.1 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①小売業（飲・食料品）33.3 ポイント、②卸売業 29.0 ポイント、③化学・プラ製造業 28.0 ポイント、④設備業 27.3 ポイント、⑤サービス業 25.0 ポイント

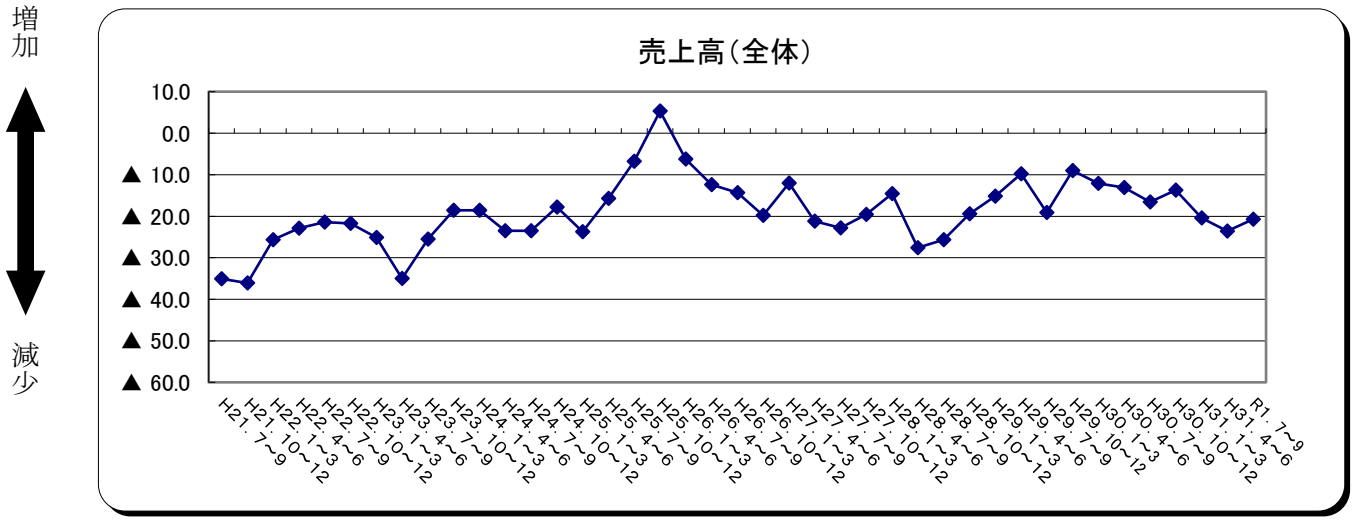
上昇
下落



☆　売上高について（令和元年 7～9 月期実績）

天気図

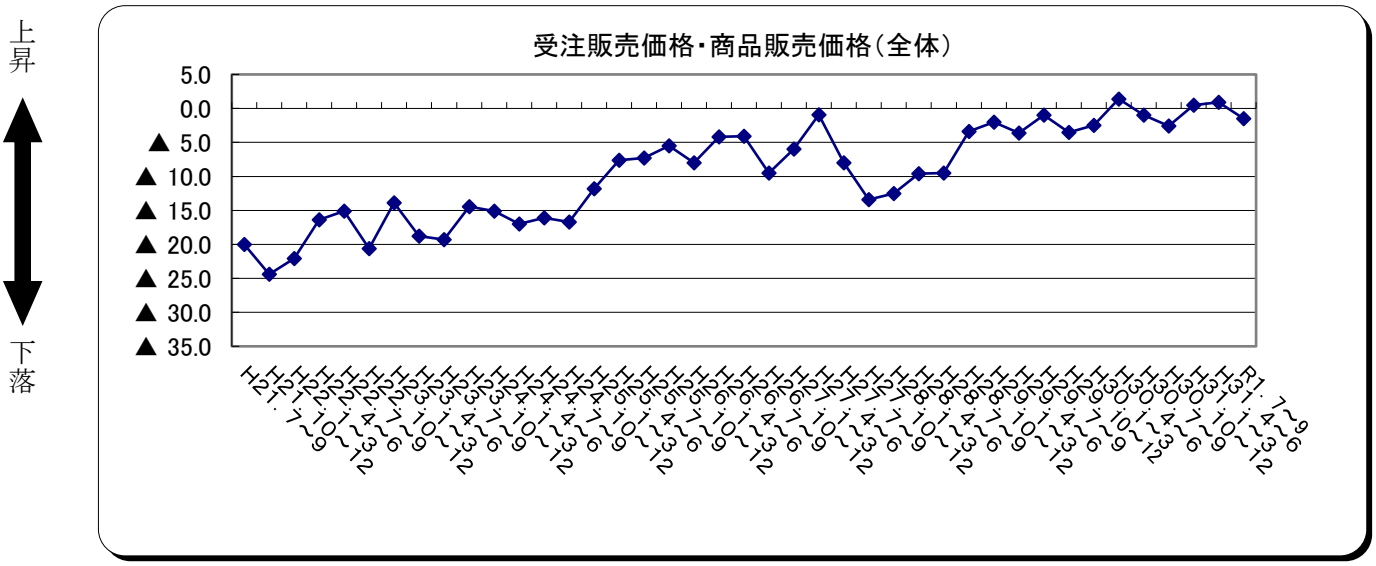
全業種 DI 指数▲20.7、前期比 2.9 ポイント上昇
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①その他の製造業、建設業 0.0 ポイント、②サービス業、食品製造業▲12.5 ポイント、③設備業▲13.6 ポイント、④機械・金属製造業▲16.2 ポイント、⑤卸売業▲18.8 ポイント



☆　受注販売価格・商品販売価格について（令和元年 7～9 月期実績）

天気図

全業種 DI 指数▲1.5、前期比▲2.4 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①その他の製造業 20.0 ポイント、②卸売業 18.8 ポイント、③小売業（飲・食料品）8.1 ポイント、④食品製造業 5.5 ポイント、⑤飲食店 0.0 ポイント

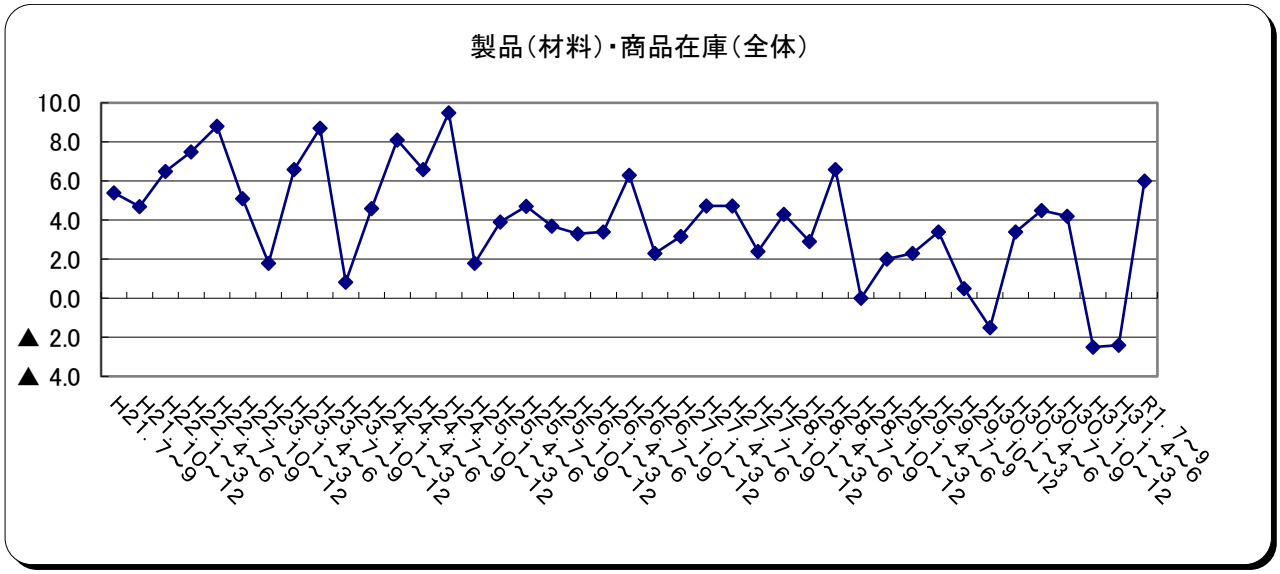


☆　製品（材料）在庫・商品在庫について（令和元年 7～9 月期実績）

天気図

全業種 DI 指数 6.0、前期比 8.4 ポイント上昇
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①化学・プラ製造業 36.0 ポイント、②機械・金属製造業 19.0 ポイント、③小売業 15.8 ポイント、④設備業、食品製造業、卸売業、その他の小売業（大型店含む）、飲食店 0.0 ポイント、⑤サービス業▲5.9 ポイント

過大



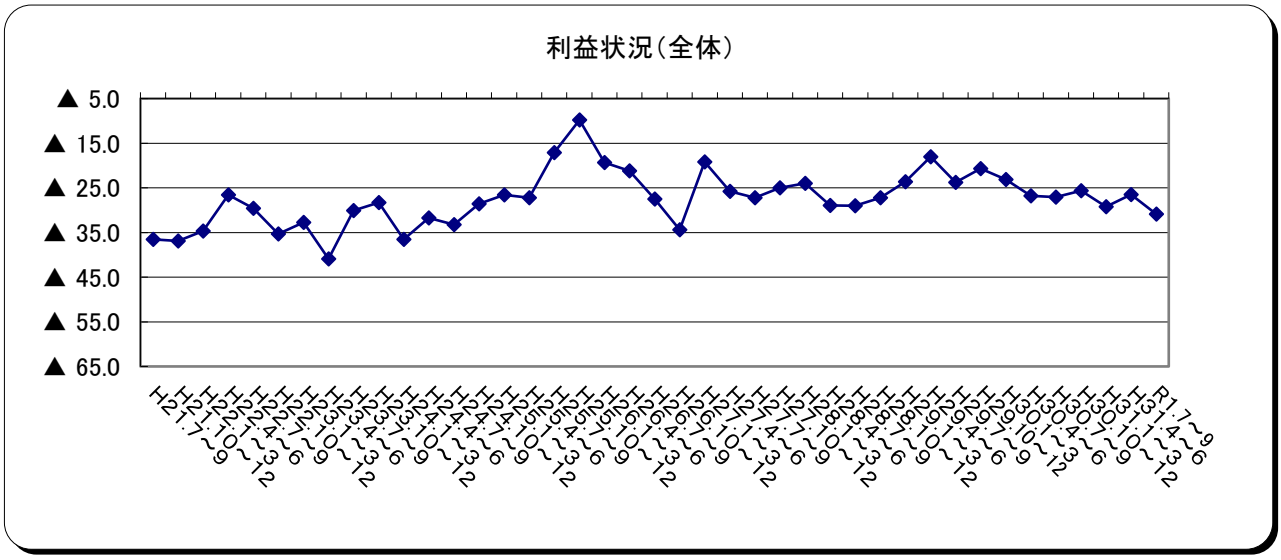
不足

☆　利益状況について（令和元年 7～9 月期実績）

天気図

全業種 DI 指数▲30.9、前期比▲4.4 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①建設業、その他の製造業 0.0 ポイント、②卸売業▲9.7 ポイント、③サービス業▲12.5 ポイント、④繊維品製造業▲18.8 ポイント、⑤機械・金属製造業▲32.4 ポイント

増加



減少

☆　資金繰りについて（令和元年 7～9 月期実績）

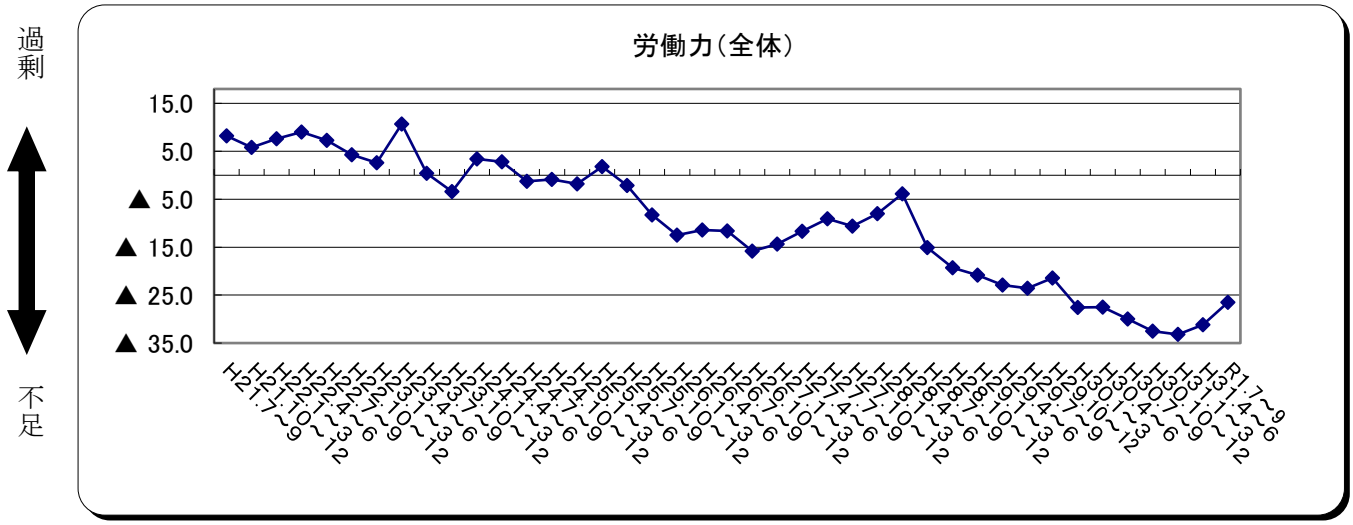
天気図

全業種 DI 指数▲17.2、前期比▲5.0 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①建設業 24.3 ポイント、②その他の製造業 9.7 ポイント、③卸売業 8.6 ポイント、④設備業▲6.7 ポイント、⑤食品製造業▲11.5 ポイント

☆　労働力について（令和元年 7～9 月期実績）

天気図

全業種 DI 指数▲26.5、前期比 4.7 ポイント上昇
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①飲食店▲9.7 ポイント、②その他の製造業▲10.3 ポイント、③食品製造業▲12.0 ポイント、④卸売業▲18.8 ポイント、⑤化学・プラ製造業▲20.5 ポイント

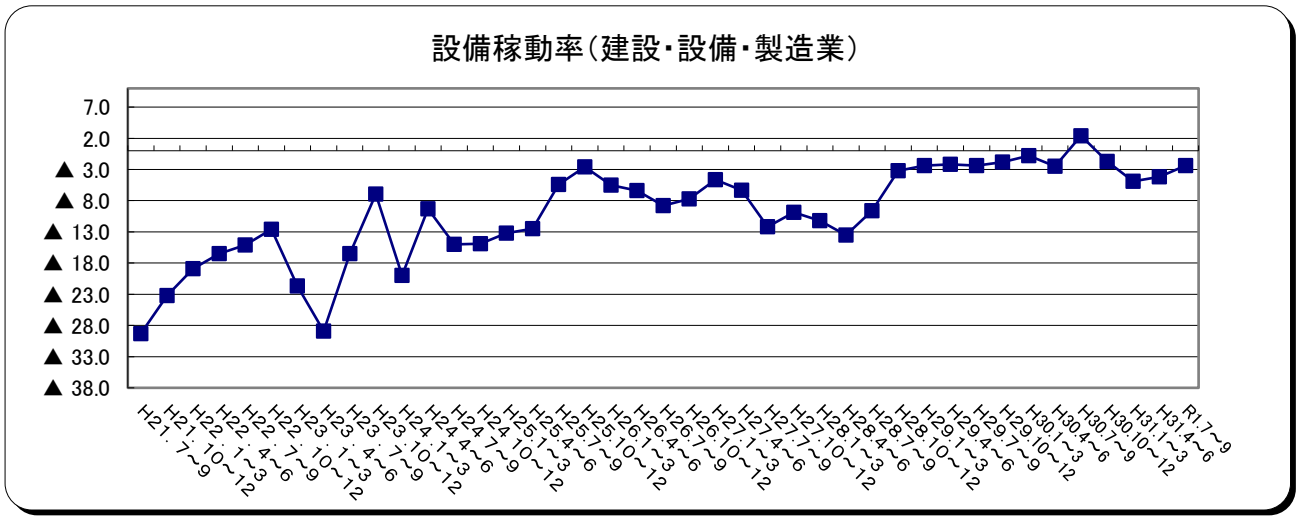


☆　設備稼動率について（令和元年 7～9 月期実績）
（建設・設備・製造業関係）

天気図

全業種 DI 指数▲2.4、前期比 1.8 ポイント上昇
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①食品製造業 5.5 ポイント、②建設業、繊維品製造業、その他の製造業 0.0 ポイント、③設備業▲6.7 ポイント、④機械・金属製造業▲11.4 ポイント、⑤化学・プラ製造業▲28.0 ポイント

高い



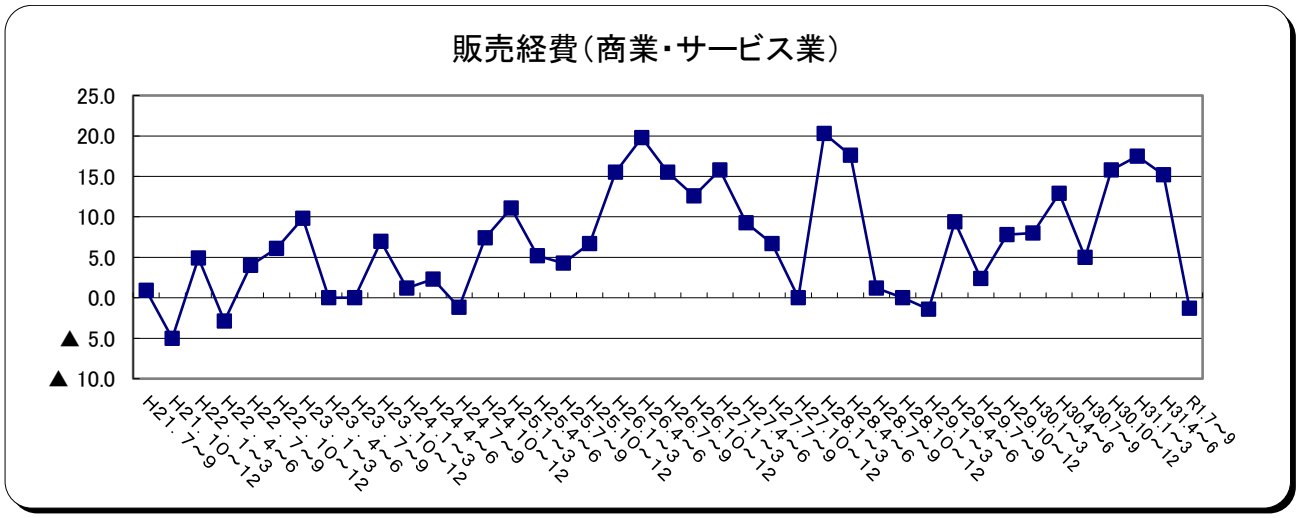
低い

☆　販売経費について（令和元年 7～9 月期実績）
（商業・サービス業関係）

天気図

全業種 DI 指数▲1.3、前期▲16.5 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①小売業（飲・食料品）33.3 ポイント、②サービス業 18.4 ポイント、③飲食店 0.0 ポイント、④卸売業▲17.6 ポイント、⑤その他の小売業（大型店含む）▲33.3 ポイント

増加



減少

☆　今後３ヶ月先（令和元年 10～12 月期の見通し）の業況について

天気図

全業種 DI 指数▲18.6、前期比▲4.0 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①その他の製造業 31.0 ポイント、②食品製造業 0.0 ポイント、③建設業▲8.1 ポイント、④飲食店▲10.3 ポイント、⑤化学・プラ製造業▲16.2 ポイント

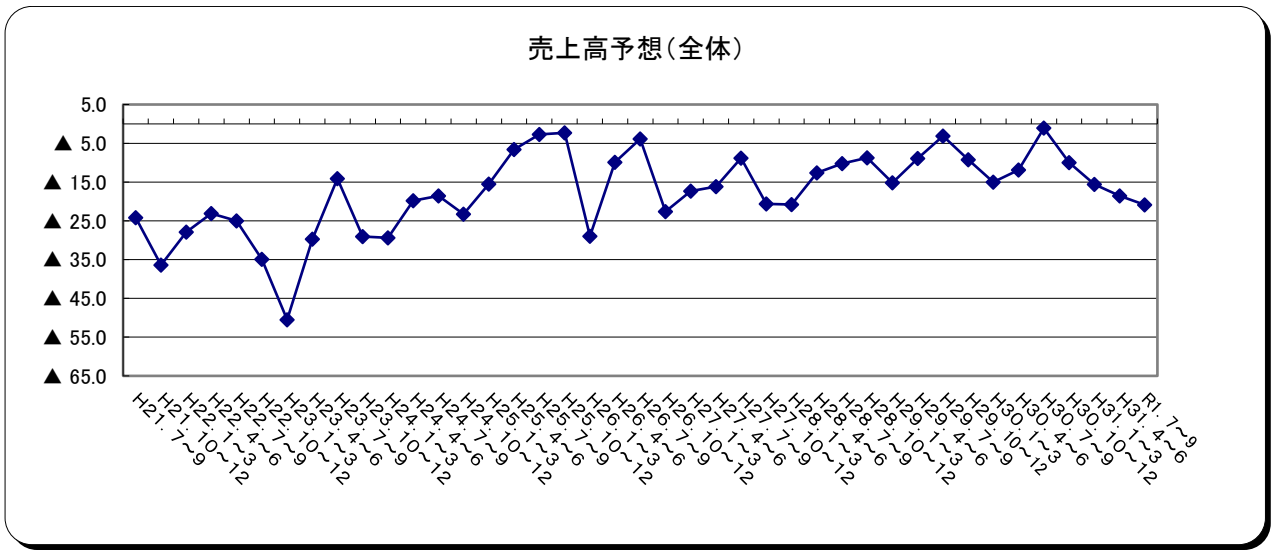
良い
悪い

☆　今後３ヶ月先（令和元年 10～12 月期の見通し）の売上高について

天気図

全業種 DI 指数▲20.9、前期比▲2.3 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①その他の製造業 20.0 ポイント、②食品製造業▲5.9 ポイント、③機械・金属製造業▲11.7 ポイント、④飲食店▲15.3 ポイント、⑤建設業▲16.7 ポイント

良い
悪い



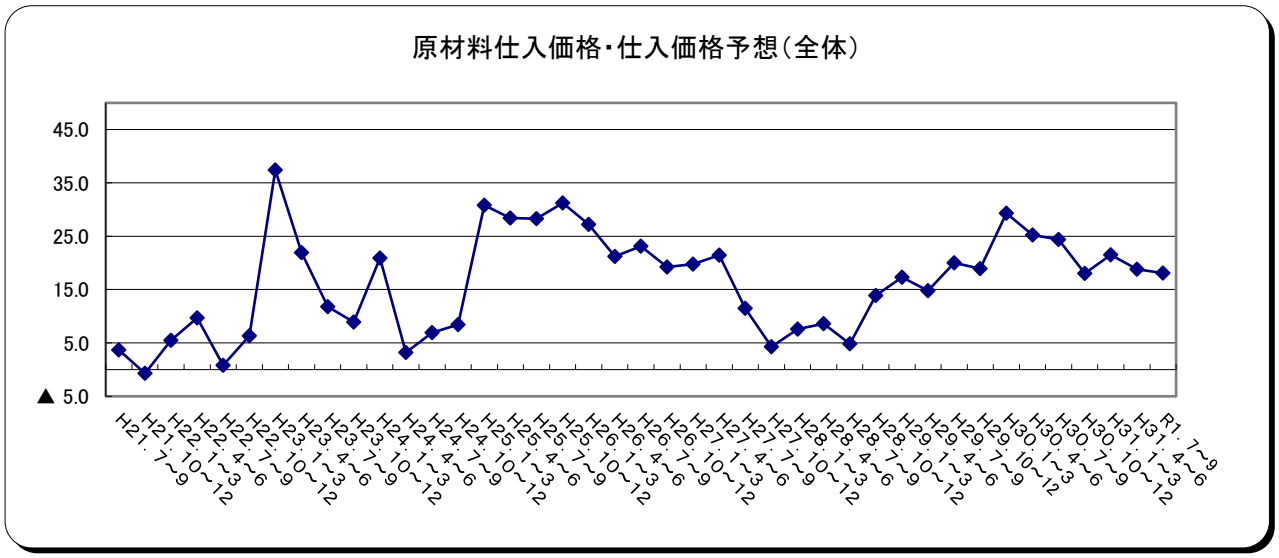
☆　今後３ヶ月先（令和元年 10～12 月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

天気図

全業種 DI 指数 18.1、前期比▲0.7 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①小売業（飲・食料品）75.0 ポイント、②設備業 36.6 ポイント、③サービス業 31.9 ポイント、④食品製造業 23.1 ポイント、⑤卸売業 18.8 ポイント

上昇

下落



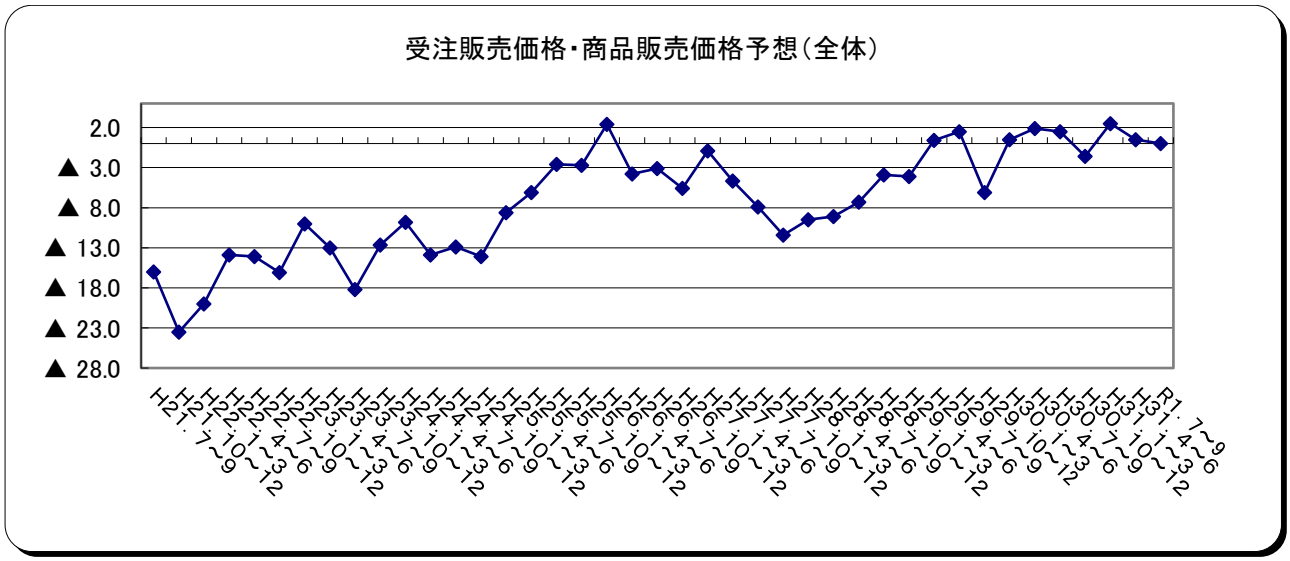
☆　今後３ヶ月先（令和元年 10～12 月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

天気図

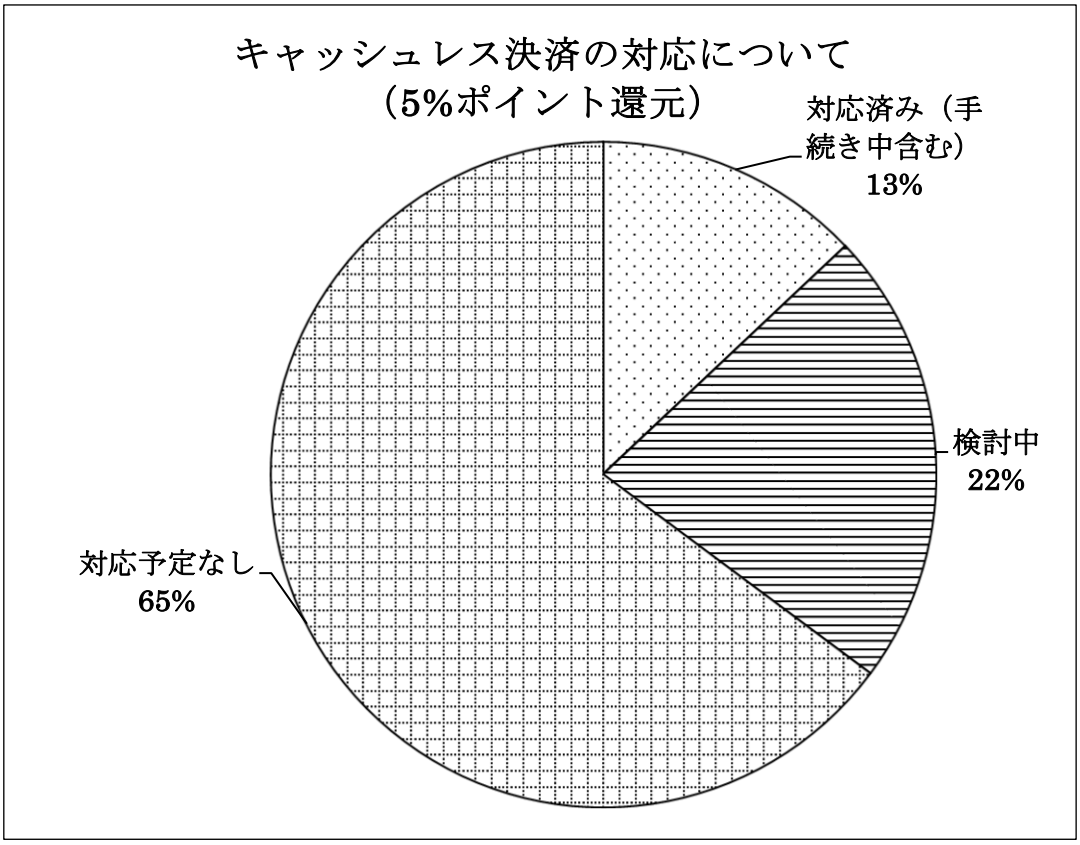
全業種 DI 指数 0.0、前期比▲0.5 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①サービス業 12.5 ポイント、②食品製造業 11.1 ポイント、③その他の製造業 9.7 ポイント、④卸売業 9.1 ポイント、⑤小売業(飲・食料品)8.1 ポイント

上昇

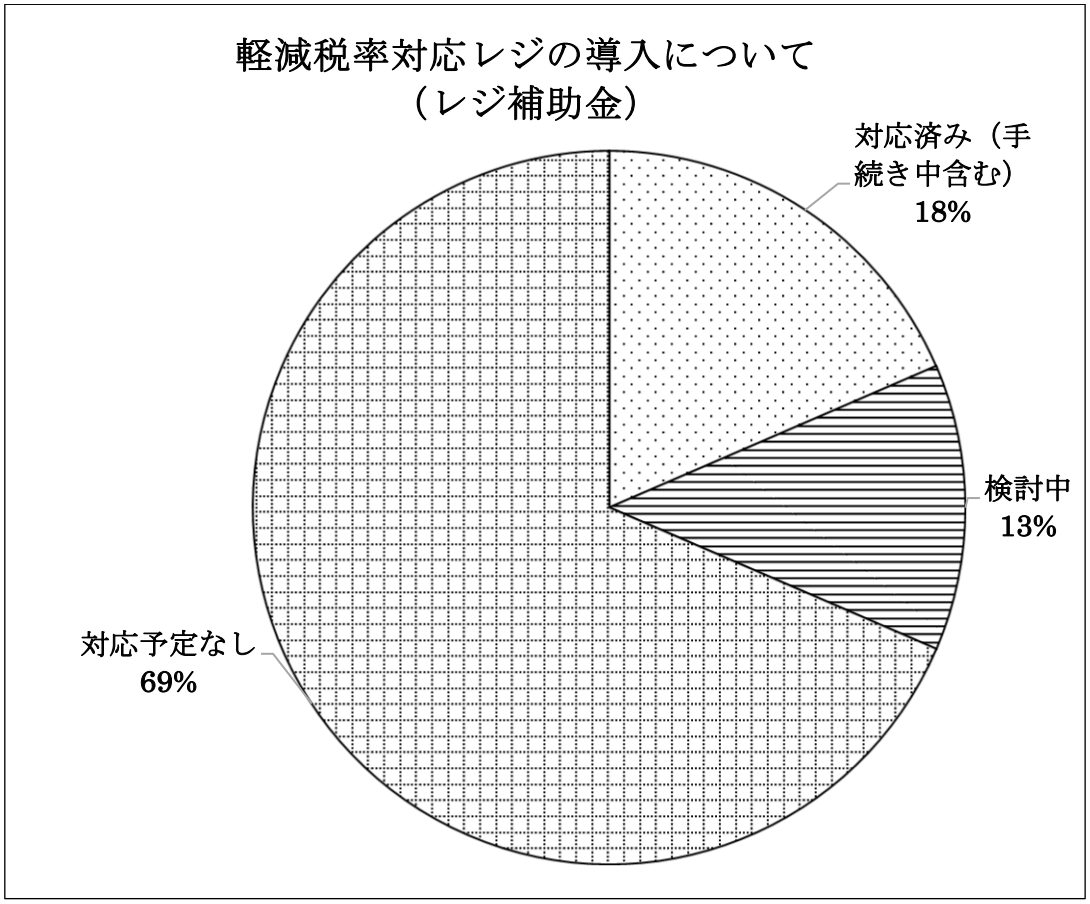
下落



☆　キャッシュレス消費者還元事業について



※サンプル数１０６、商業・サービス業対象



※サンプル数１０６、商業・サービス業対象

☆　市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

・佐野市役所の支払が遅い。（県は完成引渡後、2 週間以内で支払ってくれるが、市は出納が担当者へなるべく遅く支払うように指示している。）

設備工事業

・消費税増税に伴う駆け込みも需要も多少あった。

繊維品製造業

・10 月からの消費税で、どうなるか心配です。
・原油動向気になります。

食品製造業

・消費税増税については、弊社へはそれ程影響ありません。雇用については苦心しています。
・働き方改革で、頭を悩ませています。10 月からの消費税増税でも同じです。人手は不足していますし、なかなか上手くいきません。厳しい状況は続くと思われます。
・10 月からの消費税増税で、どうなるか先行きが不安定だ。
・例年以上に市内企業の破産、民事再生の話を聞く、中小企業としては他人事ではないし、不安を感じているが、従業員は仕事はいくらでもあるという感じで焦りがない。このギャップが少し怖い・・・。
・食品はデフレが続いています。

機械･金属製品製造業

・米国、中国との貿易摩擦、韓国と日本、国と国住んでいる人々のことを考えて地球の平和を望みます。
・10 月からの消費税 10%は、スッキリしないと思います。8%の物もあれば、イートインと持ち帰りで 2%の差‼もう少しわかりやすくしてほしいと思います。
・8 月の休みが多く売上減少です。10 月休みでは？
・消費税変更を間近にして、客先より消耗資材の買い置きの注文が一切無いのは景気悪化の前兆か？
・受注が落ちています。
・国内は仕入価格が原材料の値上がりで高騰傾向にありますが、売価への転嫁も進んできている為、収支状況としては平行線を維持できそうです。

化学･プラスチック製品製造業

・大型物件が出た後の為、生産高がやや減少の為スポット的に下方になったものの新客及新規物件が急増年末に向け注意状況。
・急落感。
・米中貿易戦争による中国での生産減少が日本を含め各国の中国輸出に打撃を与えている。
・得意先の過剰在庫のため、今年は注文が 1/3 ぐらいです。去年オリンピック 2020 年にかけて生産しすぎで売上がのびなかったそうです。
・顧客からの品質上の要求を満たすために労働力に頼らざるを得ないが、その分のコストアップを認めてもらえず、多忙＝業況 UP とはなっていない。

その他製造業

・先が見えない状況にある。来年度は間違いなく出荷は落ちると思う。
・既存の製品の売上げは落ちているが、新商品の開発に追われている。来年に向けては向上すると思う。今働き方改革に追われ、経費が増えているが状況改善にはまだ時間がかかる。
・8 月悪かった。

卸売業

・輸出の不安定さをモロに喰らっている感じ。良い時、悪い時あるのは仕方ないので策を講じます。
・複数税率となる 10/1～の業況が予想がつきません。

小売業（飲･食料品）

・街中が寂しくなる一方で困ってます。何から手をつけたら良いかわかりません。御指導を是非お願いしたい。
・消費税が 10%になると売上げは落ちると思います。原材料は上昇するでしょう。従って商品の一部が値上げになります。軽減税率制度はやらない方がよい。一律 10%の方がわかりやすい。
・複雑な消費税、大変迷惑。正しく使われるのだろうか？
・いつまでたっても景気がよくならず。
・お客様個人の財布のヒモが固いようです。個人商店が少しずつ減少するので活気が無いように思われます。あと 10 年たったら商店が残れるか心配です！
・7～9 月は売上の減少する時季ですが、10 月以降消費税増税の影響がどうなるか？

その他の小売業（大型店含む）

・9 月に入ってから買い控えが強く出ています。サイフの紐が堅くなったと感じます。
・増税前に購入して頂きました。後はお客様都合です。10 月分は落ちこむと思います。
・梅雨明けのおくれもあり、7 月の盛夏商材は不振。増税対応は好調に推移しています。今後は、増税後の対応は非常に複雑で手間がかかると思います。
・消費税に対する机上の軽減税率対策は最悪だ。
・客が少なく、仕入価格高く、他店で売値安く販売しているので売上が減少しています。

飲食店

・お客様個人の財布のヒモが固いようです。個人商店が少しずつ減少するので活気が無いように思われます。あと 10 年たったら商店が残れるか心配です！
・7～9 月は売上の減少する時季ですが、10 月以降消費税増税の影響がどうなるか？

サービス業

・増税は理解出来るが軽減税率は曖昧すぎます。
・仕事の相談は多いが、労働力が不足しているため対応出来ない。
・ご高齢の方々の減少と子供が少ない。近所にアパートがなくなり古くのなじみが越してしまった。

佐野市景況調査　要項

1　調査時期　　令和元年７月～９月

2　調査業種　　佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など２９０社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）２００社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）９０社）を対象として実施し、１８８社（回答率６４．８％）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

(1) 建設業

① 建設業	２５社
② 設備工事業	２１社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	２２社
② 食品製造業	１８社
③ 機械・金属製品製造業	４０社
④ 化学・プラスチック製品製造業	３６社
⑤ その他の製造業	２２社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	１５社
② 小売業（飲・食料品）	２３社
③ その他の小売業（大型店含む）	２７社
④ 飲食店	１９社
⑤ サービス業	２２社

3　分析方法[景況動向指数（ＤＩ）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「０」で上限限度は、＋１００・－１００となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

ＤＩ方式は、　$\frac{3x-3z}{3x+4y+3z}$　×１００により算出

ｘ：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

ｙ：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

ｚ：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

4　主　　管　　佐野商工会議所

5　調査協力　　佐野市あそ商工会

6　お問合先　　佐野商工会議所経営支援課　℡（代表）0283-22-5511

佐野商工会議所